

日本共産党は改選3から6議席に前進!

政治を変えるために全力をあげます

●埼玉選挙区選挙の結果<投票率51.94%(前回51.21%)>

候補者名	政党	投票数	得票率	
関口まさかず	自民党	898,827	29.18	当
大野もとひろ	民進党	676,828	21.98	当
西田まこと	公明党	642,597	20.87	当
伊藤 岳	共産党	486,778	15.81	次
沢田 良	お維新	228,472	7.42	
佐々木知子	こころ	118,030	3.83	
小島一郎	幸福	27,283	0.89	

●比例代表の得票数(埼玉)

政党	投票総数	得票率
自民党	990,438	32.3
民進党	625,695	20.4
公明党	490,741	16.0
共産党	427,398	13.94
お維新	221,823	7.23
生活	68,539	2.24
こころ	66,292	2.16
社民党	58,498	1.91
改革	38,721	1.26
国民怒り	27,081	0.88
幸福	15,378	0.50

●参議院比例代表選出議員選挙 開票結果 神川町

届出番号	政党等の名称	得票総数	得票率
1	社民党	94,000	1.71
2	国民怒り	26,000	0.47
3	お維新	302,000	5.48
4	公明党	1,057,666	19.19
5	共産党	642,000	11.65
6	幸福	32,000	0.58
7	自民党	2,104,539	38.19
8	改革	51,793	0.94
9	こころ	88,000	1.60
10	生活	84,000	1.52
11	民進党	957,000	17.37
12	支持政党なし	72,000	1.31

●参議院埼玉県選出議員選挙 神川町

届出番号	候補者名	得票数
1	伊藤岳	766
2	大野もとひろ	978
3	西田まこと	1,402
4	小島一郎	54
5	関口まさかず	1,861
6	佐々木知子	150
7	沢田良	311

かみかわ民報

2016年7月発行
NO. 6

日本共産党神川支部
連絡先
0495(77)2248
川浦 まさこ



生活相談
お気軽に
ご相談下さい

～日本国憲法のはなし～

日本国憲法は昭和21年11月3日公布、昭和22年5月3日施行されました。憲法の発布に当たり、文部省(当時)は、その内容を広めるために「あたらしい憲法のはなし」という教科書を作りました。

●戦争の放棄 「あたらしい憲法のはなし」(抜粋)

みなさんの中には、こんどの戦争に、おとうさんやにいさんを送りだされた人も多いでしょう。ごぶじにおかえりになったのでしょうか。それともとうとうおかえりにならなかったのでしょうか。また、くしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があったのでしょうか。何もありません。ただ、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこっただけではありませんか。戦争は人間をほろぼすことです。世の中のよいものをこわすことです。だから、こんどの戦争をしかけた国には、大きな責任があるといわなければなりません。このまえの世界戦争のあとでも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの国々ではいろいろ考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまったのは、まことに残念なことではありませんか。

そこでこんどの憲法では、日本の国が、けっして二度と戦争をしないように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないということです。これからさき日本には、陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄といいます。「放棄」とは「すててしまう」ということです。しかしみなさんは、けっして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの国よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。

もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないということきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、国の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄というのです。そうしてよその国となかよくして、世界中の国が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の国は、さかえてゆけるのです。みなさん、あのおそろしい戦争が、二度とおこらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。

pick up!

- ・安倍自公勢力は憲法問題について隠し続けて選挙をしたのであり、国民は改憲に同意したのでは全くありません。
- ・福島県では現職の法務大臣が、沖縄県では沖縄北方担当大臣が落選。
- ・東北地方6県の内、5県で市民と野党の統一候補が勝利。

